

各位

2024年3月19日

一般社団法人グランフロント大阪TMO

グランフロント大阪「ART SCRAMBLE」第7弾 展示スタート ～陶芸手法を用いたオブジェ作品や、「走る」アートバスを展示～

グランフロント大阪から全国、そして世界へ羽ばたくアーティストをサポートするアートプロジェクト「ART SCRAMBLE」（アーツクラムブル）。プロジェクト・ディレクターに椿昇を迎えて2021年3月にスタートし、気鋭のアーティストにより生み出された作品をこれまで計24点（全6回）グランフロント大阪内に展示し、訪れる人々に驚きと発見をお届けしてきました。

この度、第7弾として新たな作品を2点展示いたします。南館せせらぎテラスには、西條茜による陶芸の手法を用いて制作された作品を展示。作家自身最大となる大型作品であり、水が噴き出す仕掛けも施されています。また、梅田エリア巡回バス「うめぐるバス」の車体にペイントを施した『うめぐるARTバス』が3月13日（水）から7月下旬頃まで、走行します。本作品は、キュレーターであるMon Koutaro Ooyama含め総勢21名のアーティストと、3月10日（日）に実施したワークショップに参加した40名の子どもたちによって制作されたもので、2022年に続き2回目の実施となります。

なお、本プロジェクトは今後も定期的な作品の入替を予定しており、中長期的に継続して取り組むほか、子どもたちにアートや表現することの楽しさを感じてもらう機会を今後も提供して参ります。

■ ART SCRAMBLE 第7弾 概要

【オブジェ作品】

展示日程： 2024年3月19日（火）～2025年3月初旬
展示場所： 南館せせらぎテラス
展示アーティスト： **西條 茜**
キュレーター： ヤノベケンジ（現代アーティスト、京都芸術大学教授）

【うめぐるARTバス with #BCTION Freewall】

2024年3月13日（水）～7月下旬
うめぐるバス（梅田エリア巡回バス）
Mon Koutaro Ooyamaはじめ計21名
Mon Koutaro Ooyama（アーティスト）

主催者： 一般社団法人グランフロント大阪TMO
プロジェクトディレクター： 椿昇（コンテンポラリー・アーティスト、京都芸術大学教授）
特設サイト： <https://www.grandfront-osaka.jp/artscramble>



■ 【作品①】オブジェ作品



アーティスト：西條 茜 プロフィール

1989年 兵庫県生まれ

2014年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程 工芸専攻陶磁器分野 修了。2013年 ロンドン ロイヤルカレッジオブアートへ交換留学。陶磁器素材の特徴ともいえる内部の空洞と表面の艶やかな質感から「身体性」をキーワードに、陶彫作品及びそれらに息や声を吹き込むサウンドパフォーマンスを発表している。また一方で世界各地にある窯元などに滞在し、地元の伝説や史実に基づいた作品も制作している。

〈主な受賞歴〉

2023 京都市芸術新人賞受賞

2022 第1回 MIMOCA EYE / ミモカアイ大賞

2020 京都市芸術文化特別奨励者認定

展示作品名：「Rebecca/レベッカ」

グランフロント大阪のある大阪駅周辺は人と人、地域と地域をつなぐ関西の心臓部とも言えるエリアです。地下にも地上にも血管のように張り巡らされた道をたくさんの人が行き交い、血液のようにエネルギーが循環し増幅し続けるこの街は、まるで1つの巨大な生命体のようでもあります。「Rebecca/レベッカ」と名付けた本作は陶磁器製の彫刻作品です。粘土を一本一本紐状にして積み上げて作ったこの有機的な造形の内部には水が循環しています。そしてその姿は今この瞬間も動き続けている「都市としての生命体」を体現しているかのようです。

しかし一日のうち数回、この水の循環は止まり、レベッカはありのままの姿を見せます。私たちヒトという生命体が日々の活動のために休息したり、時には立ち止まることで自分自身を省みるように、レベッカも静/動を繰り返しながら今日もせせらぎ広場に立っています。

制作協力：一般社団法人シガラキ・シェア・スタジオ、(有)丸倍製陶 神崎倍充、奥田文悟、株式会社ジューコー、
京都芸術大学 ウルトラファクトリー、岡田琉生、下江昴、末次桃子、横井俊吾



展示場所：南館 せせらぎテラス



ART SCRAMBLE
GRAND FRONT OSAKA



ULTRA FACTORY

本作品は京都芸術大学の共通造形工房ウルトラファクトリーが主催するプロジェクト型実践演習「ウルトラプロジェクト」とコラボレーションして制作しています。

京都芸術大学では、さまざまな造形加工整備や機材を有する制作支援工房「ウルトラファクトリー」にて、第一線で活躍するアーティストやクリエイターが学生とともに活動する実践型授業「ウルトラプロジェクト」を展開しています。世界の第一線で活躍するアーティストの社会実装の現場に学生が関わることで、技術の習得だけでなく、さまざまなノウハウや経験を得ることを目的にしたものです。



■【作品②】うめぐるARTバス with #BCTION Freewall



アーティスト：Mon Koutaro Ooyama はじめ計 21 名

Bukuro / Chula / Enter / 骨コアラ / Jaako / Konirow / Mahiro / Masagon / Mizpam / Moya / Naoki / Ryoji / Ryoya / Sota / Takuji / Ue masa / うきち / Youbob / Yuhei Takahata / 10rc0 (※アルファベット順)

うめきた広場で、総勢21名のアーティストが梅田エリア巡回バス「うめぐるバス」の車体にライブペイントを実施。また、ワークショップに参加した40名の子どもたちもアーティストと共に力いっぱい「うめぐるバス」にペイントを施し、エネルギー溢れる『うめぐるARTバス』が完成しました。アーティストと子どもたちが共創した『うめぐるARTバス』が梅田のまち中を駆け抜けます。

画材協力：ターナー色彩株式会社



<キッズワークショップ概要>

日程：3月10日（日）

場所：グランフロント大阪 うめきた広場



#BCTION Freewall に関して

2014年、約80組のアーティストの作品で解体ビルの壁、床、天井を埋め尽くした話題のアートイベント「#BCTION」とワークショップコレクションがコラボしたスペシャルプログラムを2015年8月に開催。子どもたちと「#BCTION」アーティストと一緒に会場を自由にペインティングし、身体いっぱい表現した。

企画協力：#BCTION

参加アーティスト：MON (DOPPEL) / 他

会場：渋谷TODビル 1Fエントランス

画材提供：ターナー色彩株式会社



うめぐるバス(UMEGLE-BUS)に関して

グランフロント大阪のまちびらきにあわせ2013年4月より運行を開始いたしました。梅田のまちを1周約30分で巡回し、観光、ショッピングやビジネスにと快適にご利用いただけます。変わりゆく梅田の街並みを車窓から眺めることができるため、お手軽な観光クルーズとしても楽しめます。梅田のまちに映えるグリーン的車体と愛らしさが人々の目を引きつけます。

所要時間／1周約30分 停留所／12箇所

運行時間／8：05～19：15（平日）／10：20～18：35（土・休日）

運行間隔／約15～20分

運賃／1回100円（小児50円） 1日乗車券200円（小児100円）

備考／ICカード対応（PiTaPa、ICOCA、hanica等）

デジタル乗車券有（アプリ「HH cross TOWNS」をダウンロードの上、購入）

主催／一般社団法人グランフロント大阪TMO

運行主体／阪急バス株式会社

H P / <https://www.grandfront-osaka.jp/umegle/>

うめぐるバス +  +UMEGLE-BUS



■ プロジェクト・ディレクターからのメッセージ

コロナも落ち着いて、海外からの旅行者も増えていつもの日常が戻ってきました。私の感じるアートの取り組みも、とても良い意味で地に足のついた姿が日常に定着してきたことを感じます。ふわふわとしたアートイベントという一過性な関わり方ではなく、長い目でエコシステムを構築し、持続可能な社会を創造しようという社会的な合意形成が始まったと思います。グランフロント大阪アートスクランブルにもその姿が輝いています。



椿 昇（コンテンポラリー・アーティスト、京都芸術大学教授）

1989年全米を巡回したアゲインスト・ネチャー展、1993年のベネチア・ビエンナーレに出品。2001年の横浜トリエンナーレでは、巨大なバッタのバルーン《インセクト・ワールドー飛蝗（バッタ）》を発表。2003年水戸芸術館。2009年京都国立近代美術館。2012年霧島アートの森（鹿児島）で個展。2019年「パレルゴン」1980年代、90年代の日本の美術・Blum&Poe、LA・USA。2013年瀬戸内芸術祭「醬+坂手プロジェクト」、2016年小豆島未来プロジェクト、青森トリエンナーレ 2017、ARTISTS' FAIR KYOTOなどでディレクターを務める。芸術経営に関する講演や対談多数。

<https://www.metapolice.net/>

■ キュレーターからのメッセージ

西條茜は現在、国内外での展覧会に引く手あまたの最も存在感を放つ若手作家である。

今回、自身最大のスケールへの挑戦とする本作は間違いなく多くの鑑賞者の記憶に永く刻まれる彼女の代表作となるだろう。その小さな体軀からは想像出来ない熱量でひねり生み出された彫刻は、無機質な都市の中心地に聳え立つ。あたかも未知の生命体が宇宙から降臨し、その脈動するエネルギーが道ゆく人々を圧倒し続けているようだ。怪物的傑作である。



ヤノケンジ（現代美術家、京都芸術大学教授）

1990年初頭より、「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに実機能のある機械彫刻を制作。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品群は国内外から評価が高い。2005年、全長7.2mの《ジャイアント・トラヤン》を制作。2008年以降、京都芸術大学ウルトラファクトリーで巨大彫刻の集団制作体制を確立。2011年、東日本大震災後、希望のモニュメント《サン・チャイルド》を制作し、国内外で巡回。3体のうち1体が茨木市（大阪）で恒久設置される。2017年、旅をして福を運ぶ、旅の守り神《SHIP'S CAT》シリーズを制作開始。2021年、最新作《SHIP'S CAT（Muse）》が2022年に開館した大阪中之島美術館に恒久設置され、注目を浴びている。

<http://www.yanobe.com>

ご好評につき「うめぐる ART バス x #BCTION Freewall」第二弾を開催する運びとなりました。21名の関西を代表するアーティストたちのコラボレーションもさながら、やはりキッズワークショップで爆発した子供たちの落書きがエネルギーです。なんかわからん、やる気を与えてくれる不思議な筆跡。おぼろげな記憶にある、キラキラしたあれこれ。はしゃいだり、妄想したり、あ！思いついたりなんかして遊んでたあの頃を乗せて、うめぐるバスは走っております。是非ご覧くださいまし。



Mon Koutaro Ooyama（アーティスト）

モン コウタロウ オオヤマ（本名：大山康太郎 / 1979年生）は、日本のストリートアーティスト。京都市立芸術大学美術学部卒。2001年、ライブペイントデュオ「DOPPEL」を結成し、ライブペイントシーンの黎明期からそのスタイルを確立してきた。2014年、取り壊し予定のビルを利用したアートプロジェクト「#BCTION」を企画・監修する。壁画・ライブペイント・インスタレーション・キャンバス制作や、アートプロジェクトの企画・監修・演出などで活動している。

Instagram : <https://www.instagram.com/mondotooo/>

参考

■ プロジェクトロゴ・プロジェクトステートメント



アートでつながる“まち”。

その日の天気、訪れた時間、気分で、

見え方も感じ方も変わる。

日常に溶け込んだアートが面白いのは、

同じ作品でも、見るたびに新しい発見があること。

グランフロント大阪「ART SCRAMBLE」。

いつもと変わらない日常が、いつも新しい日常になる。

アートとあなたは、ここで出会いつながる。

■ 過去展示作品

【第1弾】 期間：2021年3月29日～9月2日（AGARUMANSは22年3月1日まで）



米村 優人
作品名：AGARUMANS (Best Friend)

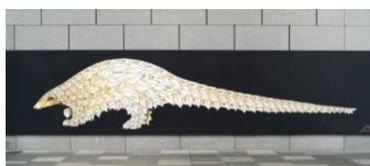


Mon Koutaro Ooyama
作品名：ツナガリ



KAC
作品名：多幸

【第2弾】 期間：2021年9月17日～2022年3月10日



BAKIBAKI
作品名：PANGOMIC



MIZPAM
作品名：looooool infection

【第3弾】 期間：2022年3月25日～9月4日（hiwadrome typeΔは23年3月21日まで）



檜皮 一彦
作品名：hiwadrome typeΔ

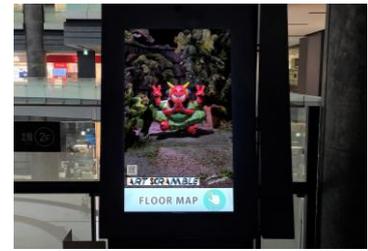


WHOLE9
作品名：Mobula



KENTA SENEKT
作品名：Tiny desk

【第4弾】 期間：2022年10月5日～12月25日



Mon Koutaro Ooyamaはじめ23名

Bukuro, Chula, Enter, Jaako, Keino, Konirow, Masagon, Mizpam, Moya, Naoki, Ryoji, Ryoya, Shun, Simo, Sota, Takuji, Tim Kojima, 10ric0, うきち, Yankeecong, Youbob, Yuhei Takahata (※アルファベット順)

「うめぐるARTバス with #BCTION Freewall」

うめきた広場で、総勢23名のアーティストとワークショップに参加した50名の子どもたちが力いっぱい「うめぐるバス」にペイントを施し、エネルギー溢れる『うめぐるARTバス』が完成。梅田のまち中を駆け抜けました。

たかくらかずき

作品名：BIG ONI KANNON MINI

【第5弾】 期間：2023年3月28日～7月2日 (「FOREIGN MATTER: 'Sand in woman」は24年3月初旬まで)



REMA

作品名：「FOREIGN MATTER: 'Sand in woman」
(異物：'砂の女')



MASAGON

作品名：「Hello again.」

ワークショップに参加した38名の子どもたちもアーティストと共に力いっぱいペイントを施し、エネルギー溢れる作品が完成しました。



【第6弾】 期間：2023年10月5日～2024年3月24日 (ART USAGI Paradeは2023年9月29日～10月9日)



ATTACK THA MOON

作品名：Enter the Dragon



COMIC HEADS

作品名：星めぐり



**BUKURO、Kagari Yusuke、柏木 遼、MIHO MURAKAMI、武蔵、MuSuHi、REMA colective、Ue Masa、YOUBOB、yusei_sagawa
「ART USAGI Parade」**

グランフロント大阪まちびらき10周年記念イベント「THE GRAND TSUKIMI」の開催にあわせ、「お月見」の象徴的なモチーフである「うさぎ」のオブジェ作品10点を施設内に展示。